

## 14 ラスパイレス賃金指数

### 14.1 ラスパイレス賃金指数

#### ① 指標の解説

ラスパイレス賃金指数、或いは賃金のラスパイレス比較とは、複数の労働者集団の賃金水準を相互に比較する手法である。賃金水準を比較する労働者集団には、各産業の労働者、大企業と中小企業の労働者、各地域の労働者、公務員と民間労働者、2000年、2017年など特定の年の労働者など、様々なものがある。それぞれ、賃金の産業間比較、規模間比較、地域間比較、官民比較、時系列比較と呼ばれる。

賃金水準の比較は、普通はまず、各集団の平均賃金（賃金の総額を労働者数で除して得る単純な平均値）で行われる。13章で行った産業間比較は、産業計の平均賃金の水準を100として各産業の賃金水準を表し、相互に比べるものであるが、実質は、各産業の平均賃金の比較である。

平均賃金を比較する場合、比較の目的によっては、集団を構成する労働者の年齢や勤続年数などの属性の違いによる影響が問題となることがある。これを勤続年数という属性に絞って説明してみよう。賃金は、勤続年数が同じであれば、どの集団に属していても変わらないとする。また、勤続年数が長くなるにつれ増加するとする。すると集団の平均賃金は、勤続年数の長い労働者の多い集団の方が高くなる。

賃金コストの面からみれば、勤続年数の長い労働者の多い集団の方が一人当たりコストは高く、平均賃金の大小はそれを反映したものである。

しかし、労働者の処遇という面からみれば、勤続年数が同じであれば賃金が同額で、集団間で処遇の違いはない。にもかかわらず平均賃金では違いが生じる。処遇の観点で集団を比較する場合、平均

賃金という指標は必ずしも適当な指標とは言えない。平均賃金の高い集団の方が処遇がよいとは必ずしも言えないからである。集団間で処遇の違いを見るのであれば、平均賃金は、少なくとも注意して使わなくてはならない指標ということになる。

こうした労働者属性の違いから受ける影響を取り除いて行う比較が、ラスパイレズ比較である。労働者の属性別の構成を共通にしたときの平均賃金を推計して比較する。先の例で言えば、2つの集団の勤続年数別の賃金の統計を使って、勤続年数別構成が同じとしたときの平均（各勤続年数の賃金を、各勤続年数の労働者数を一方の集団の労働者数として加重平均）して比較する。この例では、同じ勤続年数の労働者は属する集団に関わらず同じであるから、勤続年数別労働者数を共通にして計算すれば、両集団の加重平均値は同じとなる。

賃金水準に関係する属性は、勤続年数だけではなく、学歴、性、年齢、地域なども考えられる。こうした属性別の構成比を共通にして求めた加重平均値であれば、労働者属性の違いの影響を受けない比較ができる。

属性を揃えて算出した各集団の賃金水準について、特定の賃金水準を100として表したものをラスパイレズ指数という。100とする特定の賃金水準は、共通にした属性別構成比を有する集団の平均賃金とするのが普通である。

本項は、まず、産業ごとに、また企業規模ごとに、賃金の時系列比較のラスパイレズ賃金指数を作成する。次に、賃金の産業間、企業規模間比較のラスパイレズ賃金指数を作成する。

## ② 指標の作成結果

時系列比較のラスパイレズ指数は、各産業のものを図14-1に、各企業規模のものを図14-2に、それぞれ掲げる。計算に用いる「賃金構造基本統計調査」の表章産業の分類が、2009年から日本標準産業分類第12回改定に、2004年から2008年は同第11回改定に、

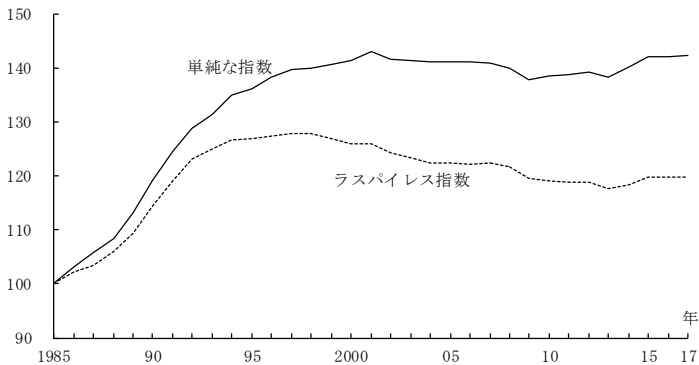
2003年以前は同第10回改定に、それぞれよっており、図14-1では、1985年から2017年まで比較できる産業、及び2005年から2017年まで比較できる産業について、グラフを示した。いずれも最初の年を100とする指数にしてある。計算の詳細は④に示した。なお、⑤に掲げる統計表においては、遡及可能な期間の短い産業や、2017年まで接続できない旧産業の計算結果も併せて示した。

また、産業間比較のラスパイレス指数を図14-3に、企業規模間比較のラスパイレス指数を図14-4に、それぞれ掲げる。

以上の各図には、単純な平均賃金の額を指数化したものを「単純な指数」、或いは「単純指数」として併せて載せ、ラスパイレス指数との相違がわかるようにした。

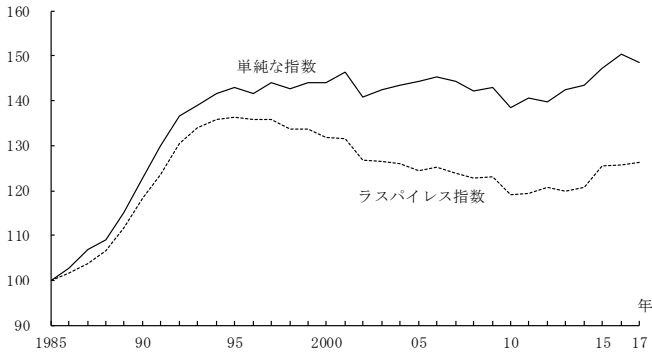
図14-1 各産業のラスパイレス賃金指数の推移

a 産業計（1985年＝100）

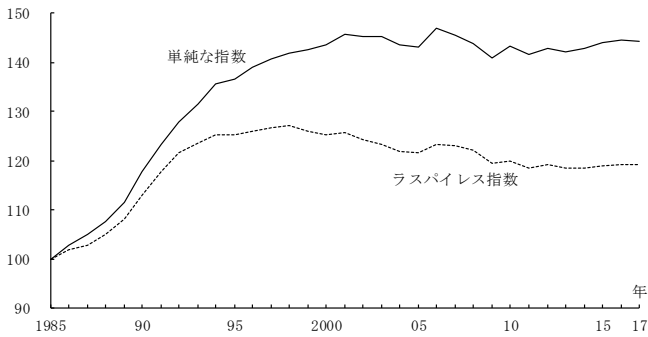


資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」（14章について以下同じ。）

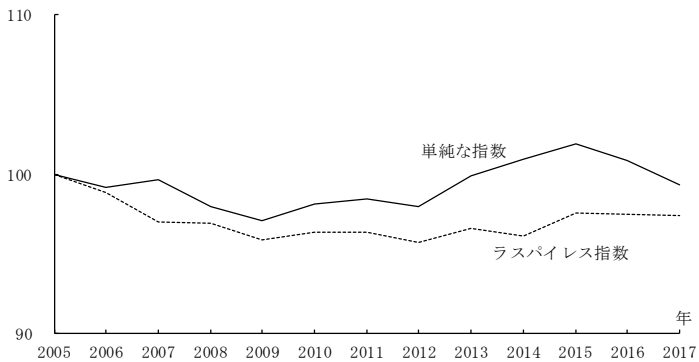
b 建設業 (1985年=100)



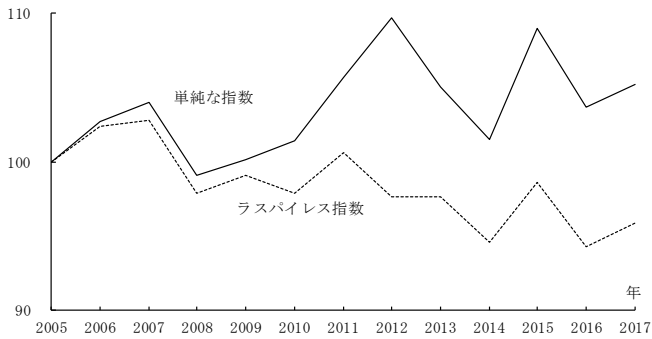
c 製造業 (1985年=100)



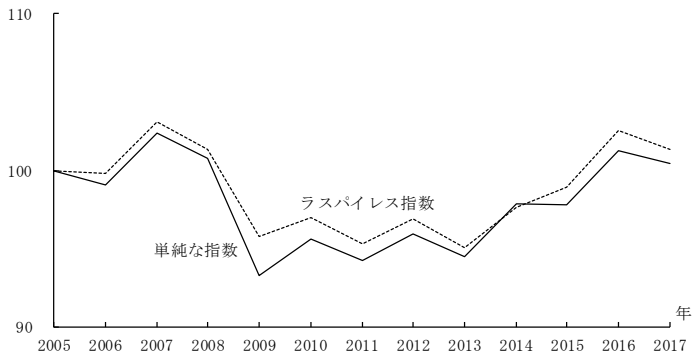
d 電気・ガス・熱供給・水道業 (2005年=100)



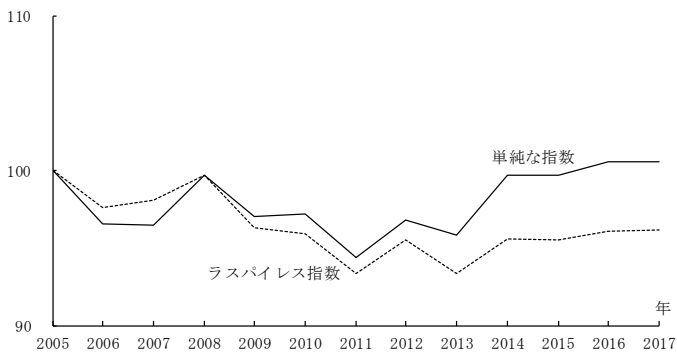
e 情報通信業 (2005年=100)



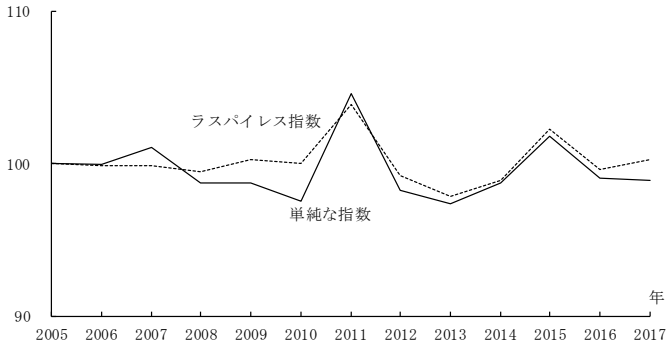
f 運輸業, 郵便業 (2005年=100)



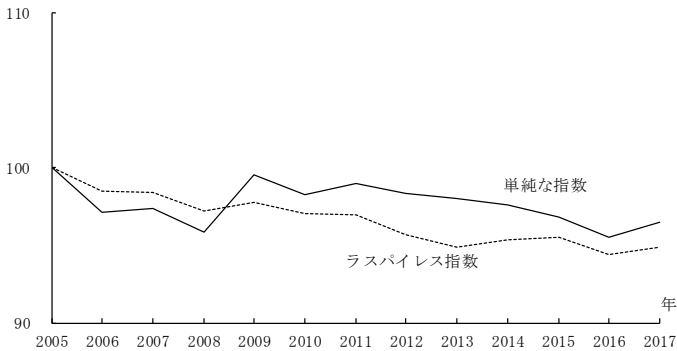
g 卸売業, 小売業 (2005年=100)



h 金融業, 保険業 (2005年=100)



i 教育, 学習支援業 (2005年=100)



j 医療, 福祉 (2005年=100)

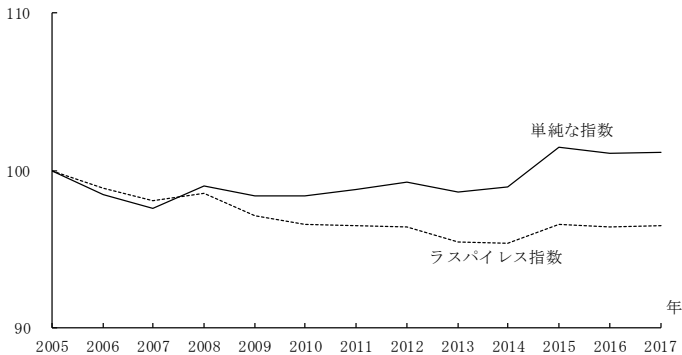
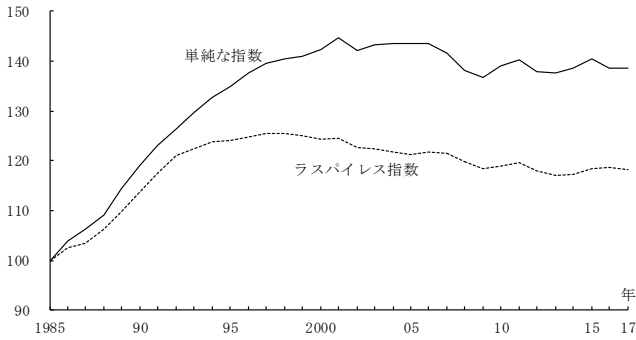
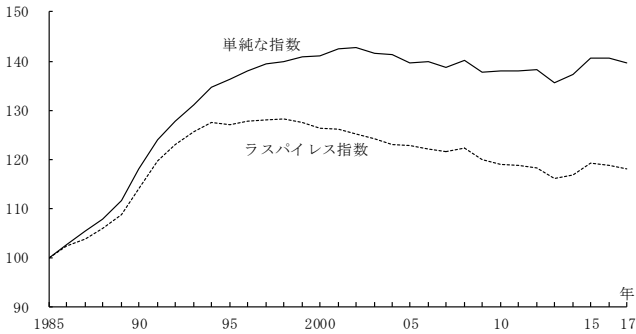


図 14-2 各企業規模のラスパイレス賃金指数の推移

a 企業規模 1,000 人以上 (1985 年=100)



b 企業規模 100-999 人 (1985 年=100)



c 企業規模 10-99 人 (1985 年=100)

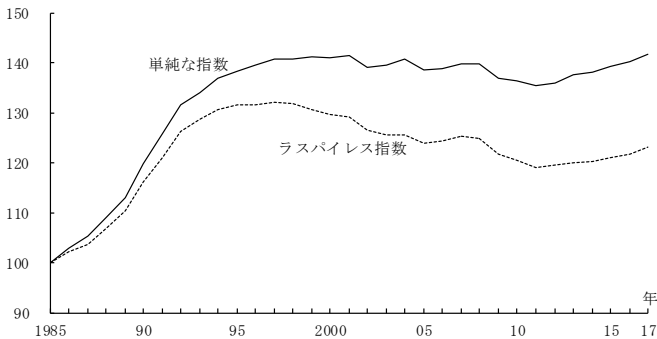
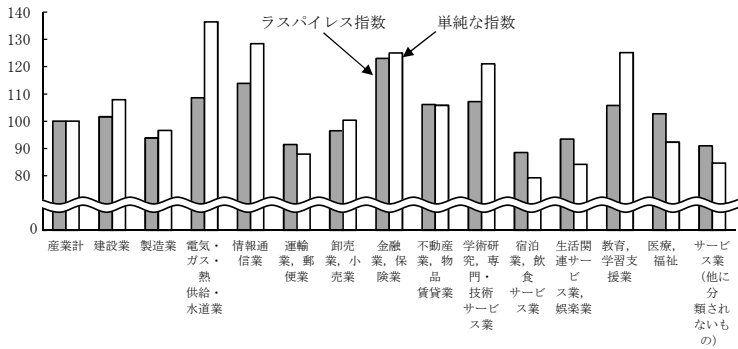
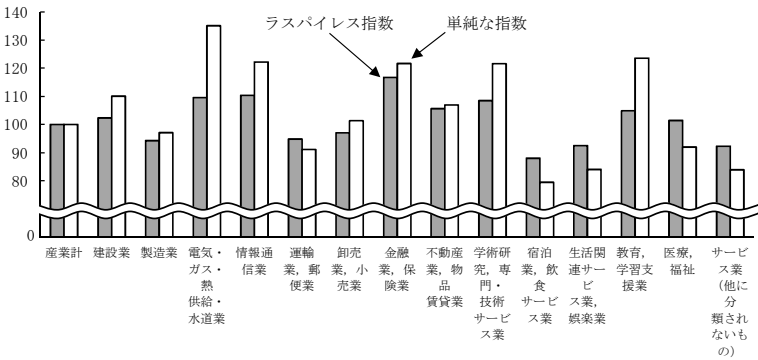


図 14-3 産業間比較

a 2015年（産業計=100）



b 2016年（産業計=100）



c 2017年（産業計=100）

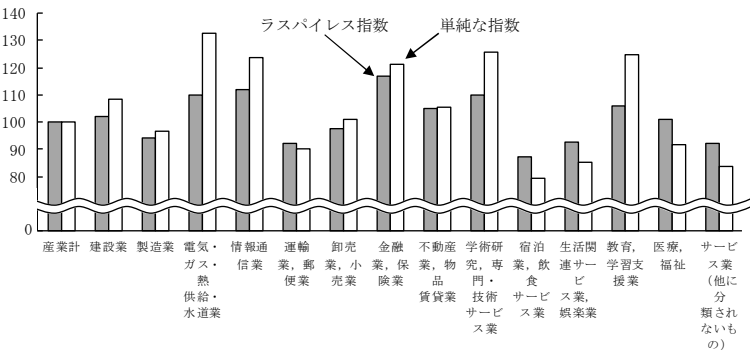
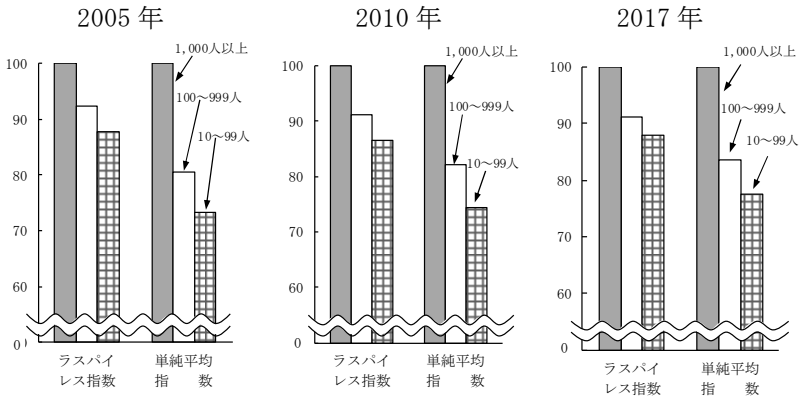


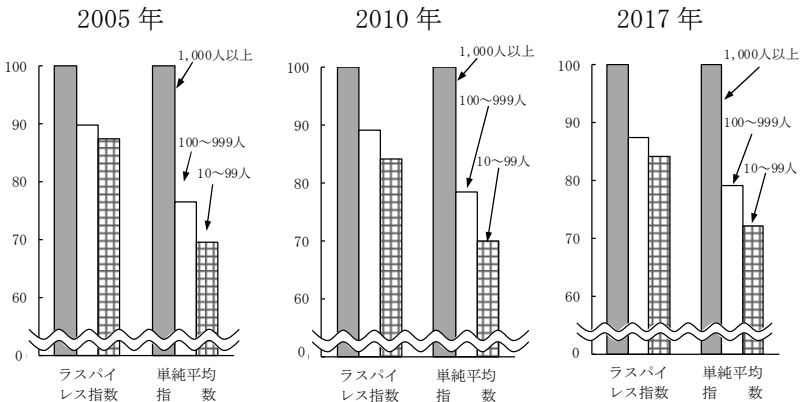


図 14-4 企業規模間比較

a 産業計（企業規模 1,000 人以上 = 100）



b 製造業（企業規模 1,000 人以上 = 100）



③ 作成結果の説明

各産業、各企業規模の時系列指数をみると（図 14-1、14-2）、単純な指数に比べてラスパイレス指数の方が伸びていない。労働者構成の変化は、この間、全体の賃金水準を押し上げる方向に働いていたことがわかる。

産業間格差をみると（図 14-3）、2017 年でラスパイレス指数が単

純な指数より小さくなっている産業は、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、卸売業、小売業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、教育、学習支援業である。ラスパイレス指数が単純指数より小さいのは、産業計に比べ、高齢又は高学歴の労働者の割合が高いためと考えられる。逆に、ラスパイレス指数が単純な指数より大きくなる産業は、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、医療、福祉、サービス業（他に分類されないもの）で、産業計に比べ労働者の年齢構成が若い、あるいは女性の割合が高い、等の理由が考えられる。

企業規模間格差をみると（図 14-4）、単純な指数と比較してラスパイレス指数は規模間格差が小さくなっている。規模間格差の一部分は、規模ごとに労働者の属性が異なっていることに起因するものであることがわかる。

#### ④ 指標の作成方法

##### 1) 労働者の属性

性、学歴、年齢階級、勤続年数階級別の労働者構成比を共通にして比較する。性、学歴、年齢、勤続年数の各属性の区分数は、性 2 区分（男女）、学歴 4 区分（中学卒、高校卒、高専・短大卒、大学・大学院卒）、年齢階級 12 区分（19 歳以下、20 歳から 69 歳までの 5 歳階級、70 歳以上）、勤続年数階級 9 区分（0 年、1～2 年、3～4 年、5～9 年、10～14 年、15～19 年、20～24 年、25～29 年、30 年以上）である。各属性をクロスした区分は、864 区分（ $2 \times 4 \times 12 \times 9$ ）となる。

計算に用いる統計は「賃金構造基本統計調査」であり、賃金の種類は月間所定内給与額、労働者は同調査にいう企業規模 10 人以上の民間企業の「一般労働者」（短時間労働者ではない者）である。

年齢階級は、2007 年までは、現在の 19 歳以下が 17 歳以下と

18・19歳の2区分に分かれている一方、現在の65～69歳と70歳以上の2区分が65歳以上の1区分であった。時系列比較のラスパイレス指数作成の際には、年齢階級区分別の統計を適宜合計するなどの処置をした。

## 2) 基本となる算出式

全864区分の属性区分のそれぞれを添え字の $i$  ( $i=1, \dots, n$ ,  $n=864$ )で、また、構成比が共通の構成比となる集団(以下「基準とする集団」という。)を添え字 $0$ で、もう一方の比較する集団を添え字 $t$ で表す。所定内給与を $E$ 、構成比を $w$ と置く。

基準とする集団 $0$ の構成比で加重平均した比較する集団 $t$ の加重平均賃金

$$\text{ラスパイレス実額} = \sum_{i=1}^n w_{0i} E_{ti}$$

のことを、便宜上、ラスパイレス実額と呼ぶことにする。

基準とする集団 $0$ の平均賃金に対するラスパイレス実額の百分比がラスパイレス指数である。

$$\text{ラスパイレス指数} = \frac{\sum_{i=1}^n w_{0i} E_{ti}}{\sum_{i=1}^n w_{0i} E_{0i}} \times 100$$

分母は、基準とする集団 $0$ の‘通常の’平均賃金である。記号の意味を改めて書くと、

$E$  : 賃金 (所定内給与)、 $w$  : 労働者構成

$i$  : 労働者の属性、

$0$  : 基準とする集団、 $t$  : 比較する集団

## 3) 時系列比較のラスパイレス指数

時系列比較のラスパイレス指数は、1985年以降の長期にわたって推移をみるので、基準とする集団を1985年から5年ごとの年(基準年)の労働者にして作成した。

まず、基準年の翌年から5年間について、基準年の労働者構成をもって加重平均してラスパイレス実額を作成する。1985年の労

働者構成で 1986 年から 1990 年の各年のラスパイレス実額を、1990 年の労働者構成で 1991 年から 1995 年の各年のラスパイレス実額を、以下、1995 年、2000 年、2005 年、2010 年の労働者構成で同じように、それぞれの向こう 5 年間のラスパイレス実額を求め、最後に、2015 年の労働者構成で 2016 年以降のラスパイレス実額を求める。

次に、1986 年以降各年のラスパイレス実額の前年比を求める。ただし、基準とする年の翌年のラスパイレス実額と比較する前年の値は、基準とする年の報告書掲載の値そのものとする。

その上で、1985 年を 100 として、ラスパイレス実額の前年比を累積する。これを時系列比較のラスパイレス指数とした。

#### 4) 産業間、規模間比較のラスパイレス指数

産業間比較のラスパイレス指数は、産業計の労働者構成をもって、各産業の属性別賃金を加重平均して得たラスパイレス実額の、産業全体の平均賃金に対する百分比である。

規模間比較のラスパイレス指数は、企業規模 1000 人以上の労働者構成をもって、その他の各規模の属性別賃金を加重平均して得たラスパイレス実額の、企業規模 1000 人以上の平均賃金に対する百分比である。

いずれも、構成比が 0.01%未満（1 万分の 1 未満）となる属性は対象から外した。そのため、基準とする集団の平均賃金（産業全体の平均賃金、企業規模 1000 人以上の平均賃金）は、報告書に掲載される調査産業計、企業規模 1000 人以上のものと必ずしも一致しない。

#### 5) 欠損データへの対応

産業間、規模間を比較する場合、基準とする集団（産業計、規模計）では労働者がいるのに、比較する集団では労働者がいない属性区分（性、学歴、年齢階級、勤続年数階級）があり得る。このデータが欠損する属性区分については、以下の方法で推計した

賃金を当てはめて使った。

まず、データが欠損する属性区分のある性、学歴で、労働者数が最も多い年齢階級、勤続年数階級を特定する。次に、その性、学歴、年齢階級、勤続年数階級の賃金について、比較する集団と基準とする集団の比率を求める。もし、労働者数が最も多い年齢階級、勤続年数階級が複数あるときは、該当する年齢階級、勤続年数階級の賃金を単純平均して比率を取る。その上で、比較する集団ではデータが欠損する属性区分に対応する基準とする集団における賃金に、この比率を乗じる。この乗じて得た額を、比較する集団におけるデータが欠損する属性区分の賃金とした。

#### ⑤ 指標のデータ

指標の計算結果は以下のとおりである。

表 14-1 産業別賃金指数（時系列比較）

年	調査産業計			建設業			製造業		
	単純 指数	ラスパ イレス 指数	ラスパ イレス 増減率	単純 指数	ラスパ イレス 指数	ラスパ イレス 増減率	単純 指数	ラスパ イレス 指数	ラスパ イレス 増減率
			%			%			%
1985	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-
1986	103.2	102.3	2.3	102.6	101.7	1.7	102.9	101.9	1.9
1987	105.8	103.5	1.2	106.8	103.7	2.0	105.1	102.9	1.0
1988	108.5	106.1	2.5	108.9	106.6	2.8	107.7	105.1	2.1
1989	113.1	109.4	3.1	115.2	111.7	4.8	111.6	108.1	2.9
1990	119.1	114.4	4.6	122.7	118.4	6.0	117.7	112.9	4.4
1991	124.6	119.1	4.1	129.9	123.6	4.4	123.3	117.8	4.3
1992	128.7	123.1	3.4	136.6	130.5	5.6	127.9	121.6	3.2
1993	131.5	125.1	1.6	138.9	134.0	2.7	131.5	123.7	1.7
1994	134.9	126.7	1.3	141.7	135.9	1.4	135.6	125.2	1.2
1995	136.2	126.8	0.1	142.9	136.2	0.2	136.7	125.3	0.1
1996	138.3	127.4	0.5	141.6	135.7	△0.4	139.1	125.9	0.5
1997	139.8	127.8	0.3	144.1	135.8	0.1	140.8	126.7	0.6
1998	139.9	127.8	△0.0	142.6	133.8	△1.5	142.0	127.3	0.5
1999	140.6	126.9	△0.7	144.1	133.7	△0.1	142.7	125.9	△1.1
2000	141.3	126.0	△0.7	144.1	131.8	△1.4	143.7	125.4	△0.4

表 14-1 産業別賃金指数（時系列比較）（続き）

年	調査産業計			建設業			製造業		
	単純 指数	ラスパ イレス 指数	ラスパ イレス 増減率	単純 指数	ラスパ イレス 指数	ラスパ イレス 増減率	単純 指数	ラスパ イレス 指数	ラスパ イレス 増減率
	%			%			%		
2001	143.0	125.9	△0.1	146.3	131.5	△0.2	145.8	125.7	0.2
2002	141.5	124.3	△1.3	140.9	126.9	△3.5	145.3	124.3	△1.1
2003	141.3	123.4	△0.7	142.3	126.5	△0.3	145.3	123.4	△0.7
2004	141.1	122.5	△0.7	143.4	125.9	△0.5	143.7	121.8	△1.3
2005	141.3	122.3	△0.2	144.3	124.5	△1.1	143.2	121.6	△0.2
2006	141.2	122.2	△0.1	145.2	125.1	0.5	146.9	123.4	1.5
2007	140.8	122.3	0.1	144.2	124.0	△0.9	145.5	123.0	△0.3
2008	139.9	121.7	△0.5	142.2	122.9	△0.9	143.8	122.1	△0.7
2009	137.7	119.6	△1.7	143.0	123.1	0.2	140.9	119.5	△2.1
2010	138.5	119.0	△0.5	138.4	119.2	△3.2	143.3	119.9	0.3
2011	138.8	118.9	△0.1	140.7	119.4	0.2	141.7	118.6	△1.1
2012	139.2	118.8	△0.1	139.7	120.7	1.1	142.8	119.3	0.6
2013	138.3	117.6	△1.0	142.3	120.0	△0.6	142.1	118.5	△0.7
2014	140.1	118.3	0.6	143.6	120.7	0.6	142.8	118.5	0.0
2015	142.2	119.7	1.2	147.3	125.4	3.9	144.0	118.9	0.3
2016	142.2	119.8	0.1	150.2	125.7	0.2	144.7	119.3	0.3
2017	142.3	119.8	△0.0	148.4	126.2	0.4	144.4	119.2	△0.1

資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

表 14-1 産業別賃金指数 (時系列比較 2004年前、又は2009年前に遡れない産業)

年	電気・ガス・熱供給・水道業		情報通信業		運輸業、郵便業		卸売業、小売業		金融業、保険業						
	単純指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数					
2004	98.2	-	98.7	-	99.9	-	100.8	-	98.1	-					
2005	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					
2006	99.2	98.9	△1.1	102.7	102.4	2.4	99.1	99.8	△0.2	96.6	97.6	△2.4	99.9	99.9	△0.1
2007	99.7	97.0	△1.9	104.0	102.8	0.4	102.4	103.1	3.3	96.5	98.1	0.5	101.1	99.9	0.0
2008	98.0	96.9	△0.1	99.1	97.9	△4.8	100.8	101.3	△1.7	99.7	99.7	1.6	98.7	99.5	△0.4
2009	97.1	95.9	△1.0	100.1	99.1	1.2	93.3	95.8	△5.4	97.0	96.3	△3.4	98.7	100.3	0.8
2010	98.1	96.4	0.5	101.5	97.9	△1.2	95.6	97.0	1.3	97.3	95.9	△0.4	97.5	100.0	△0.3
2011	98.4	96.4	△0.0	105.7	100.6	2.8	94.3	95.3	△1.8	94.4	93.4	△2.6	104.6	103.9	3.9
2012	98.0	95.7	△0.7	109.7	97.7	△2.9	95.9	96.9	1.7	96.8	95.5	2.2	98.3	99.2	△4.5
2013	99.9	96.6	0.9	105.1	97.7	△0.0	94.5	95.1	△1.9	95.8	93.4	△2.2	97.3	97.9	△1.3
2014	101.0	96.1	△0.5	101.5	94.6	△3.2	97.9	97.6	2.6	99.7	95.6	2.4	98.7	98.9	1.0
2015	101.9	97.6	1.6	109.0	98.6	4.2	97.8	98.9	1.3	99.7	95.5	△0.1	101.8	102.3	3.4
2016	100.9	97.5	△0.1	103.7	94.3	△4.4	101.3	102.5	3.6	100.6	96.1	0.6	99.1	99.6	△2.6
2017	99.3	97.4	△0.1	105.2	95.9	1.7	100.5	101.3	△1.2	100.6	96.2	0.1	98.9	100.3	0.7



表 14-1 産業別賃金指数 (時系列比較 2004 年前、又は 2009 年前に遡れない産業)

年	不動産業, 物品賃貸業			学術研究, 専門・技術サービス業			宿泊業, 飲食サービス業			生活関連サービス業, 娯楽業		
	単純指数	ラスパ イレス 指数	ラスパ イレス 増減率	単純 指数	ラスパ イレス 指数	ラスパ イレス 増減率	単純 指数	ラスパ イレス 指数	ラスパ イレス 増減率	単純 指数	ラスパ イレス 指数	ラスパ イレス 増減率
2009	99.5	-	-	95.7	-	-	100.3	-	-	100.1	-	-
2010	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-
2011	102.2	99.0	△1.0	97.9	97.8	△2.2	100.0	98.9	△1.1	100.4	98.7	△1.3
2012	98.8	96.4	△2.6	96.8	97.3	△0.5	99.3	98.7	△0.2	100.4	98.4	△0.3
2013	100.7	97.6	1.2	97.9	97.6	0.3	98.2	97.5	△1.2	101.5	97.9	△0.5
2014	102.0	97.7	0.1	97.2	96.5	△1.1	102.2	99.1	1.6	103.1	97.5	△0.4
2015	102.3	98.3	0.6	96.7	96.2	△0.3	101.7	100.0	0.9	102.5	98.0	0.5
2016	103.3	99.6	1.3	97.1	97.1	0.9	102.0	100.1	0.1	102.2	97.6	△0.4
2017	102.2	98.3	△1.3	100.6	99.1	2.1	102.2	100.4	0.3	103.9	97.9	0.3

表 14-1 産業別賃金指数 (時系列比較 2004 年前、又は 2009 年前に遡れない産業)

年	教育, 学習支援業			医療, 福祉			複合サービス事業			サービス業 (他に分類されないもの)		
	単純 指数	ラスパ イレス 指数	ラスパ イレス 増減率	単純 指数	ラスパ イレス 指数	ラスパ イレス 増減率	単純 指数	ラスパ イレス 指数	ラスパ イレス 増減率	単純 指数	ラスパ イレス 指数	ラスパ イレス 増減率
2004	96.3	-	-	98.5	-	-	-	-	-	-	-	-
2005	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
2006	97.1	98.5	△1.5	98.5	98.9	△1.1	-	-	-	-	-	-
2007	97.4	98.4	△0.1	97.6	98.1	△0.8	-	-	-	-	-	-
2008	95.9	97.2	△1.2	99.1	98.6	0.5	-	-	-	-	-	-
2009	99.6	97.8	0.6	98.4	97.1	△1.5	-	-	-	-	-	-
2010	98.2	97.1	△0.7	98.4	96.6	△0.5	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-
2011	99.0	97.0	△0.1	98.8	96.5	△0.1	102.6	101.7	1.7	101.2	101.1	1.1
2012	98.3	95.7	△1.3	99.2	96.4	△0.1	105.8	103.6	1.9	97.7	98.9	△2.2
2013	98.1	94.9	△0.8	98.7	95.5	△0.9	104.1	103.5	△0.1	99.2	97.6	△1.3
2014	97.6	95.4	0.5	99.0	95.4	△0.1	107.0	105.6	2.0	102.5	99.9	2.4
2015	96.8	95.5	0.1	101.5	96.6	1.3	105.7	105.6	△0.0	102.4	99.6	△0.3
2016	95.6	94.4	△1.2	101.1	96.4	△0.2	104.5	105.1	△0.5	101.6	100.9	1.3
2017	96.5	94.9	0.5	101.2	96.5	0.1	106.1	106.2	1.0	101.8	100.8	△0.1

資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

表 14-1 産業別賃金指数  
(時系列比較 第 11 回改定日本標準産業分類に基づく表章産業)

年	不動産業		飲食店, 宿泊業		サービス業 (他に分類されないもの)		
	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	ラスパ イレス 増減率
2004	105.0	-	102.6	-	102.9	-	-
2005	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	-
2006	100.5	101.2	100.5	99.6	102.8	100.7	0.7
2007	101.6	101.7	100.0	99.3	101.5	100.9	0.2
2008	97.9	99.4	102.2	100.3	98.4	98.9	△2.0

資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

表 14-1 産業別賃金指数 (時系列比較 第 10 回改定日本標準産業分類に基づく表章産業)

年	運輸・通信業			卸売・小売業、飲食店			金融・保険業			サービス業		
	単純 指数	ラスパ イレ ス 指数	ラスパ イレ ス 増減率	単純 指数	ラスパ イレ ス 指数	ラスパ イレ ス 増減率	単純 指数	ラスパ イレ ス 指数	ラスパ イレ ス 増減率	単純 指数	ラスパ イレ ス 指数	ラスパ イレ ス 増減率
1985	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-
1986	102.3	102.2	2.2	103.9	102.5	2.5	105.1	104.1	4.1	103.3	103.1	3.1
1987	105.0	104.2	2.0	105.7	103.6	1.1	109.0	106.8	2.6	106.2	104.2	1.1
1988	109.2	108.4	4.0	108.0	106.2	2.5	111.5	109.4	2.4	108.2	106.5	2.2
1989	112.5	111.1	2.5	113.7	110.1	3.7	116.0	112.6	2.9	113.1	109.4	2.7
1990	119.4	117.7	5.9	120.0	115.2	4.6	119.5	115.9	2.9	118.9	113.9	4.1
1991	125.1	122.9	4.4	125.3	119.5	3.7	121.4	118.0	1.8	124.8	119.4	4.8
1992	127.8	126.1	2.6	128.8	123.7	3.5	126.6	122.0	3.4	128.5	123.2	3.2
1993	128.6	126.9	0.6	130.3	124.7	0.8	127.6	121.9	△0.1	132.0	126.4	2.6
1994	130.2	128.2	1.0	133.1	126.3	1.3	129.7	122.3	0.3	136.7	128.9	2.0
1995	130.7	128.8	0.5	136.6	126.8	0.4	131.4	121.1	△1.0	137.8	129.3	0.3
1996	132.3	129.4	0.5	138.4	126.4	△0.3	133.1	121.8	0.6	140.5	130.6	1.0
1997	133.5	129.9	0.4	139.8	127.2	0.6	135.0	121.2	△0.5	141.2	130.5	△0.1
1998	131.9	129.0	△0.7	140.8	126.9	△0.2	135.0	118.9	△1.9	141.5	130.8	0.2
1999	129.8	126.8	△1.7	141.4	126.4	△0.4	136.8	119.1	0.2	143.0	130.4	△0.3
2000	129.2	125.9	△0.7	142.5	126.5	0.1	137.6	118.0	△0.9	144.1	129.2	△0.9
2001	129.8	125.5	△0.3	143.8	125.6	△0.7	141.2	117.8	△0.2	146.1	129.5	0.2
2002	127.1	122.7	△2.2	143.7	124.7	△0.7	137.8	116.3	△1.3	144.8	128.1	△1.1
2003	125.9	121.1	△1.3	142.1	123.7	△0.8	139.7	115.4	△0.8	144.5	127.2	△0.7

資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

表 14-2 企業規模別賃金指数（時系列比較）

調査産業計

年	1000人以上			100～999人			10～99人		
	単純指数	ラスパ イレ ス 指数	ラスパ イレ ス 増減率	単純指数	ラスパ イレ ス 指数	ラスパ イレ ス 増減率	単純指数	ラスパ イレ ス 指数	ラスパ イレ ス 増減率
			%			%			%
1985	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-
1986	103.9	102.5	2.5	102.7	102.4	2.4	102.9	102.3	2.3
1987	106.2	103.4	0.9	105.5	103.9	1.5	105.4	103.7	1.4
1988	109.0	106.2	2.7	108.0	106.0	2.0	108.8	106.9	3.0
1989	114.4	109.7	3.2	111.7	108.8	2.6	113.0	110.4	3.3
1990	119.2	113.8	3.8	118.1	114.1	4.9	119.9	116.2	5.2
1991	123.2	117.5	3.2	124.0	119.7	4.9	125.7	121.1	4.2
1992	126.4	121.1	3.1	127.7	123.1	2.8	131.5	126.2	4.3
1993	129.7	122.5	1.2	131.2	125.6	2.1	134.0	128.7	2.0
1994	132.7	123.8	1.0	134.8	127.4	1.4	137.0	130.7	1.5
1995	134.8	124.0	0.2	136.3	127.1	△0.3	138.4	131.5	0.7
1996	137.6	124.9	0.7	137.9	127.7	0.5	139.4	131.7	0.1
1997	139.6	125.4	0.4	139.5	128.1	0.3	140.7	132.0	0.3
1998	140.4	125.5	0.1	139.8	128.3	0.2	140.7	131.8	△0.2
1999	140.9	124.9	△0.5	141.0	127.5	△0.6	141.2	130.7	△0.8
2000	142.5	124.3	△0.5	141.1	126.3	△0.9	141.0	129.6	△0.8
2001	144.8	124.4	0.1	142.5	126.2	△0.2	141.6	129.2	△0.3
2002	142.1	122.8	△1.4	142.6	125.2	△0.7	139.2	126.4	△2.1
2003	143.3	122.5	△0.3	141.6	124.2	△0.8	139.6	125.6	△0.7
2004	143.6	121.7	△0.6	141.2	123.0	△1.0	140.7	125.5	△0.0
2005	143.6	121.2	△0.4	139.7	122.8	△0.2	138.5	123.9	△1.3
2006	143.5	121.8	0.5	139.9	122.2	△0.5	138.8	124.4	0.4
2007	141.6	121.6	△0.2	138.7	121.5	△0.5	139.8	125.4	0.8
2008	138.1	119.8	△1.5	140.1	122.4	0.7	139.9	124.9	△0.3
2009	136.8	118.5	△1.1	137.7	120.1	△1.9	137.0	121.6	△2.6
2010	139.1	118.8	0.3	138.0	119.0	△0.9	136.5	120.4	△1.0
2011	140.3	119.5	0.6	137.9	118.8	△0.2	135.5	119.1	△1.2
2012	137.8	118.0	△1.2	138.3	118.4	△0.3	136.0	119.6	0.5
2013	137.7	117.0	△0.9	135.6	116.1	△2.0	137.7	120.1	0.3
2014	138.7	117.3	0.3	137.2	116.9	0.8	138.2	120.2	0.2
2015	140.4	118.6	1.1	140.6	119.2	1.9	139.2	121.0	0.7
2016	138.7	118.8	0.2	140.7	118.9	△0.3	140.3	121.7	0.6
2017	138.6	118.1	△0.5	139.7	118.2	△0.6	141.7	123.1	0.9

表 14-2 企業規模別賃金指数（時系列比較）（続き）

製造業

年	1000人以上			100～999人			10～99人		
	単純指数	ラスパ イレ ス指数	ラスパ イレ ス増減率	単純指数	ラスパ イレ ス指数	ラスパ イレ ス増減率	単純指数	ラスパ イレ ス指数	ラスパ イレ ス増減率
			%			%			%
1985	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-
1986	102.8	101.9	1.9	102.8	101.8	1.8	103.0	102.2	2.2
1987	105.1	102.9	1.0	105.9	103.1	1.3	105.0	103.5	1.3
1988	108.7	105.0	2.0	108.2	105.1	1.9	107.6	106.3	2.7
1989	113.0	108.5	3.3	111.8	108.0	2.8	111.4	109.1	2.6
1990	118.4	113.1	4.2	117.2	112.6	4.3	117.5	114.0	4.5
1991	121.9	117.1	3.5	123.8	117.9	4.7	123.8	119.6	4.9
1992	126.5	120.6	3.0	128.5	121.6	3.1	129.6	124.4	4.0
1993	130.6	122.7	1.7	132.6	123.9	1.9	131.9	126.1	1.4
1994	134.4	124.0	1.1	135.8	125.0	0.9	135.1	128.1	1.6
1995	136.2	124.2	0.2	137.5	125.6	0.5	136.6	128.2	0.1
1996	139.7	125.7	1.2	139.6	126.1	0.4	137.6	128.5	0.2
1997	142.2	126.7	0.8	141.8	126.9	0.6	138.1	129.1	0.5
1998	143.0	127.0	0.2	144.0	128.5	1.3	139.9	129.4	0.2
1999	144.0	126.7	△0.2	143.8	126.1	△1.9	141.1	128.4	△0.8
2000	145.3	126.7	0.0	145.4	125.7	△0.3	140.5	127.2	△0.9
2001	148.3	127.5	0.6	146.8	126.0	0.2	141.5	126.8	△0.3
2002	147.2	125.8	△1.3	146.4	124.7	△1.0	141.2	125.5	△1.0
2003	150.5	126.3	0.4	146.1	123.7	△0.8	139.7	123.7	△1.4
2004	150.2	125.3	△0.8	144.7	122.1	△1.3	139.6	122.5	△1.0
2005	147.3	124.0	△1.0	141.8	121.1	△0.8	138.7	122.4	△0.1
2006	152.4	127.2	2.6	143.4	121.3	0.2	138.9	122.9	0.4
2007	149.0	126.3	△0.7	144.7	121.8	0.4	139.2	123.3	0.3
2008	144.5	125.0	△1.0	145.0	121.6	△0.2	140.4	123.2	△0.1
2009	143.0	122.3	△2.2	139.2	118.9	△2.2	137.1	119.9	△2.7
2010	145.3	123.3	0.8	143.2	119.9	0.8	137.8	119.1	△0.7
2011	143.0	121.9	△1.1	143.1	118.9	△0.8	136.7	117.9	△1.0
2012	145.7	123.4	1.2	141.4	118.5	△0.3	136.3	117.9	△0.0
2013	144.3	121.5	△1.5	139.2	117.1	△1.2	139.5	119.4	1.3
2014	145.9	122.7	1.0	140.4	117.1	0.0	138.2	118.1	△1.1
2015	147.6	123.6	0.7	141.7	117.9	0.7	139.0	117.7	△0.3
2016	146.8	123.2	△0.3	141.2	117.8	△0.1	139.2	117.9	0.2
2017	144.7	122.5	△0.6	143.8	118.9	0.9	141.4	119.8	1.6

資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

表 14-3 賃金指数（産業間比較 産業計=100）

年	産業計		建設業		製造業		電気・ガス・熱供給・水道業	
	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数
1990	100.0	100.0	101.1	107.3	94.2	94.3	-	-
1991	100.0	100.0	101.5	108.6	94.4	94.4	-	-
1992	100.0	100.0	103.9	110.5	94.2	94.8	-	-
1993	100.0	100.0	104.3	110.0	94.3	95.4	-	-
1994	100.0	100.0	104.5	109.4	94.1	95.9	-	-
1995	100.0	100.0	104.6	109.3	94.2	95.7	-	-
1996	100.0	100.0	103.5	106.7	94.2	96.0	-	-
1997	100.0	100.0	103.3	107.4	94.4	96.1	-	-
1998	100.0	100.0	101.9	106.2	95.1	96.8	-	-
1999	100.0	100.0	102.0	106.7	94.7	96.8	-	-
2000	100.0	100.0	101.5	106.2	94.8	97.0	-	-
2001	100.0	100.0	101.4	106.6	95.2	97.3	-	-
2002	100.0	100.0	99.6	103.7	95.5	98.0	-	-
2003	100.0	100.0	99.7	104.9	95.2	98.1	-	-
2004	100.0	100.0	99.9	105.9	94.6	97.2	112.9	132.5
2005	100.0	100.0	98.5	106.4	94.3	96.7	111.8	134.7
2006	100.0	100.0	99.2	107.2	95.9	99.3	112.5	133.7
2007	100.0	100.0	98.2	106.6	95.6	98.6	110.0	134.7
2008	100.0	100.0	98.1	105.9	95.2	98.1	108.8	133.3
2009	100.0	100.0	99.9	108.1	94.6	97.6	109.3	134.2
2010	100.0	100.0	97.5	104.1	95.4	98.7	109.8	134.8
2011	100.0	100.0	98.0	105.6	94.7	97.4	110.4	134.9
2012	100.0	100.0	99.3	104.5	95.2	97.9	109.0	134.0
2013	100.0	100.0	99.6	107.2	95.6	98.0	110.7	137.5
2014	100.0	100.0	99.4	106.7	94.8	97.3	109.5	137.1
2015	100.0	100.0	101.6	107.9	93.9	96.6	108.6	136.4
2016	100.0	100.0	102.3	110.1	94.3	97.1	109.5	135.0
2017	100.0	100.0	102.0	108.6	94.1	96.8	109.7	132.8

表 14-3 賃金指数（産業間比較 産業計=100）（続き）

年	情報通信業		運輸業, 郵便業		卸売業, 小売業		金融業, 保険業	
	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数
2004	116.3	117.2	93.9	90.6	99.3	102.3	114.3	121.5
2005	114.4	118.6	94.5	90.6	99.3	101.4	116.8	123.6
2006	116.0	121.9	92.5	89.8	97.2	98.0	115.7	123.6
2007	117.2	123.7	94.6	93.0	97.8	98.1	115.0	125.3
2008	111.0	118.7	93.0	92.2	99.4	102.1	116.3	123.2
2009	113.5	121.8	90.9	86.6	98.0	100.8	116.8	125.2
2010	113.6	122.7	91.9	88.3	97.5	100.5	116.4	122.9
2011	115.3	127.5	90.6	86.9	95.1	97.4	121.1	131.6
2012	113.4	131.9	91.6	88.1	97.3	99.6	116.7	123.2
2013	113.5	127.2	90.1	87.4	96.2	99.2	118.2	122.9
2014	110.9	121.3	92.7	89.4	97.9	101.9	118.2	123.0
2015	113.9	128.4	91.4	88.0	96.5	100.4	123.1	125.0
2016	110.4	122.2	94.8	91.1	97.0	101.3	116.7	121.6
2017	112.0	123.8	92.2	90.3	97.4	101.2	116.7	121.3

年	不動産業, 物品 賃貸業		学術研究, 専門・ 技術サービス業		宿泊業, 飲食サ ービス業		生活関連サービ ス業, 娯楽業	
	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数
2004	-	-	-	-	-	-	-	-
2005	-	-	-	-	-	-	-	-
2006	-	-	-	-	-	-	-	-
2007	-	-	-	-	-	-	-	-
2008	-	-	-	-	-	-	-	-
2009	106.9	106.3	110.7	123.7	91.5	80.6	98.2	84.9
2010	106.8	106.2	111.4	128.5	89.4	79.9	96.6	84.3
2011	106.6	108.4	110.1	125.5	89.0	79.8	96.3	84.5
2012	104.4	104.4	109.0	123.8	88.5	79.0	94.9	84.2
2013	106.8	107.1	110.3	125.9	88.4	78.7	96.5	85.8
2014	106.1	107.1	108.9	123.4	89.3	80.8	94.4	85.9
2015	106.2	105.8	107.1	121.0	88.5	79.2	93.4	84.2
2016	105.6	106.9	108.4	121.5	88.0	79.4	92.5	84.0
2017	104.9	105.7	109.8	125.8	87.3	79.6	92.4	85.3



表 14-3 賃金指数  
(産業間比較 産業計=100) (続き)

年	教育, 学習支援業		医療, 福祉		サービス業 (他に分類されな いもの)	
	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数
2004	105.7	125.5	103.7	90.3	-	-
2005	106.7	130.2	105.1	91.6	-	-
2006	105.7	126.5	102.6	90.3	-	-
2007	104.2	127.2	102.4	89.6	-	-
2008	104.3	126.0	102.2	91.6	-	-
2009	106.6	132.9	103.5	92.4	94.0	84.9
2010	106.6	130.4	103.4	91.9	93.2	84.8
2011	106.4	131.1	104.0	92.0	94.4	85.6
2012	105.9	129.8	104.0	92.2	92.1	82.4
2013	106.2	130.4	103.7	92.3	92.0	84.3
2014	107.2	128.1	102.7	91.3	92.9	85.9
2015	105.8	125.2	102.8	92.3	91.0	84.6
2016	104.9	123.6	101.4	92.0	92.3	83.9
2017	105.9	124.6	101.0	91.9	92.1	84.0

資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

表 14-3 賃金指数 (産業間比較 産業計=100)  
第 11 回改定日本標準産業分類に基づく産業)

年	不動産業		飲食店, 宿泊業		サービス業 (他に分類されな いもの)	
	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数
2004	113.1	116.3	92.2	81.4	101.6	96.2
2005	112.6	110.6	92.3	79.3	99.8	93.4
2006	114.6	111.3	91.6	79.7	100.8	96.1
2007	113.1	112.7	90.7	79.5	100.2	95.1
2008	111.7	109.3	91.8	81.8	99.0	92.8

資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

表 14-4 賃金指数（企業規模間比較）  
 （産業計 1,000 人以上=100、製造業 1,000 人以上=100）

年	産業計				製造業			
	100-999 人		10-99 人		100-999 人		10-99 人	
	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数
1990	90.3	82.1	88.5	76.3	92.2	78.7	91.4	73.3
1991	91.7	83.3	88.8	77.4	93.5	80.8	92.6	75.0
1992	91.6	83.7	89.6	78.9	93.3	80.8	93.2	75.6
1993	92.6	83.8	90.4	78.4	93.1	80.8	92.4	74.6
1994	92.9	84.1	90.7	78.3	92.9	80.4	92.3	74.3
1995	92.7	83.8	91.1	77.9	93.2	80.3	92.0	74.1
1996	92.6	83.0	90.6	76.9	92.6	79.5	91.3	72.8
1997	92.6	82.8	90.7	76.5	91.9	79.3	90.4	71.7
1998	92.8	82.5	90.3	76.0	93.0	80.1	90.3	72.2
1999	92.4	82.8	89.8	76.0	90.9	79.4	89.5	72.3
2000	92.1	82.0	89.6	75.1	90.5	79.6	88.3	71.4
2001	91.6	81.5	88.5	74.2	90.2	78.7	87.1	70.5
2002	92.3	83.1	88.1	74.3	90.2	79.1	87.2	70.8
2003	91.7	81.9	87.6	73.9	89.2	77.3	85.7	68.6
2004	91.6	81.4	88.0	74.3	88.4	76.7	85.1	68.6
2005	92.3	80.5	87.8	73.2	89.8	76.6	87.5	69.5

表 14-4 賃金指数（企業規模間比較）（続き）  
 （産業計 1,000 人以上=100、製造業 1,000 人以上=100）

年	産業計				製造業			
	100-999 人		10-99 人		100-999 人		10-99 人	
	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数	ラスパ イレス 指数	単純 指数
2006	91.2	80.7	87.4	73.3	87.2	74.9	84.7	67.3
2007	91.3	81.1	88.5	74.9	89.0	77.3	85.9	69.0
2008	93.2	84.0	89.3	76.8	89.2	79.8	86.8	71.7
2009	92.9	83.3	88.6	75.9	88.9	77.4	86.4	70.8
2010	91.1	82.2	86.5	74.5	89.1	78.4	84.1	70.0
2011	90.7	81.4	85.3	73.3	88.6	79.6	84.4	70.6
2012	91.6	83.1	86.8	74.9	87.4	77.2	83.3	69.1
2013	90.7	81.6	87.9	75.9	87.5	76.7	85.9	71.4
2014	90.6	81.9	86.9	75.6	86.6	76.6	83.4	70.0
2015	91.6	82.9	86.5	75.2	86.3	76.3	82.7	69.5
2016	91.4	84.0	86.8	76.7	86.0	76.5	82.6	70.0
2017	91.0	83.5	87.9	77.6	87.4	79.1	84.2	72.2

資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」